



きぬこかい新聞

発行
国土交通省
下館河川事務所
きぬこかい情報発信局

〒308-0841
茨城県筑西市二木成1753
Tel. 0296-25-2161
HPアドレス
http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/



事前の一策は、事後の百策にも優る！ 平成二十三年年度 工事安全対策協議会「開催

十一月は、工事事故防止強化月間です。下館河川事務所では、平成二十三年十一月十五日（火）に工事施工等に係わる労働災害・交通事故・及び犯罪行為等の発生を未然に防止し、かつ工事施工等従事者の安全衛生及び職場環境の向上に努めるため、発注者・受注者双方の約百四十名が一堂に会して「工事安全対策協議会総会」を茨城県県西生涯学習センターにおいて開催しました。

○平成二十二年年度工事安全施工業者表彰と安全対策の発表

昨年度完成工事の中から特に「安全管理」について優秀であった下記の二工事について表彰し、受賞者から安全対策の取り組み（第三者に対する安全確保対策・リスクの高い項目について事前調査を行い対策を講じる等）についての発表がありました。施工業者の皆様には、これらの実績事例も参考に、今後、より一層の安全対策に万全を期して頂きたいと思っております。



安全対策取り組みについての発表

非出水期になり 河川工事が始まりました

下館河川事務所では、非出水期を迎え、河川の工事が開始されました。今年度は、三月の東日本大震災で被災した箇所の本格復旧工事をはじめとする工事が管内の鬼怒川・小貝川で行われます。



石井出張所管内では、台風15号の洪水で洗掘された災害箇所の応急復旧工事が始まりました。

沿川の住民の皆様や河川利用の皆様には、工事のための通行止めや工事車両の通行等ご不便をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。



シンポジウムのご案内 H23. 12. 4 (日) 9:30~12:45 筑西市総合福祉センター

小貝川水害から25年 ～語り継ごう小貝川の歴史～

昭和61年8月小貝川大水害

昭和61年8月台風10号による集中豪雨が小貝川流域を襲い、水位がほぼ全川にわたって計画時の基準数値を超え、150年に1回と言われるほどの出水となりました。被害は下館市（現筑西市）の面積の約4分の1を泥水の海に変え、下流の下妻市、石下町（現常総市）、水海道市（現常総市）などに及びました。このような被害がふたたび起きないようにするために、



軒下まで水につかった家（元飯田）

直轄河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）が行われ、被害の大きかった母子島（はこじま）地区を遊水地に造成するとともに、その地区内に点在していた5集落を集団移転し、遊水地内に新しい町を作るという全国でも初めての改修事業が行われました。

昭和六十一年八月の台風十号により、小貝川が氾濫し大きな被害が発生してから今年で二十五年が経ちました。この記憶を風化させず、これらの経験を将来に語り継ぐと共に、日頃の防災意識を高めることを目的に、十二月四日（日）筑西市総合福祉センターにおいて、下館河川事務所・筑西市・下妻市・常総市が共催でシンポジウムを開催します。

プログラム

- 9:30~10:00 吹奏楽演奏
(下館中学校吹奏楽部)
- 10:00~10:20 主催者挨拶
(国土交通省下館河川事務所長 筑西市長、下妻市長、常総市長)
- 10:30~11:20 基調講演
(福田 昌史:高知工科大学理事)
- 11:20~11:40 和太鼓演奏
(和太鼓こゆき)
- 11:45~12:45 パネルディスカッション
『過去、そして未来へ』

基調講演

『昭和61年小貝川水害を振り返って』
講師 高知工科大学理事
(当時下館工事事務所長) 福田 昌史

パネルディスカッション

テーマ 過去、そして未来へ
パネラー
【筑西市:水防関係】富田 宏司 副団長
【下妻市:水防関係】佐藤 茂 元消防団長
【常総市:水防関係】沼尻 隆志 消防団長
【住民】渡辺比佐子
【住民】古澤 諭
【当時の事務所関係者】福田 昌史
【当時の事務所関係者】丸山 泉
コーディネーター
【下館河川事務所長】富岡 秀顯

吹奏楽・和太鼓演奏

- ・下館中学校吹奏楽部演奏
- ・和太鼓こゆき演奏

その他・体験・展示

- 体験コーナー
降雨体験車、自然災害体験車、地震体験車、土のう作り・ひも結びコーナー
- 展示：パネル展示、アルバム展示
- 地元物産展



住所：茨城県筑西市小林355番地
入場は無料です。
たくさんの方のご来場をお待ちしています

地域の中学生が未来に向けて 職場体験・マイチャレンジ

十一月一日、鎌庭出張所管内で、実際に職業を体験することで、自分の適正について考え、進路に対する認識を高めることを目的に「中学生による職場体験」が、また十一月十六日から十八日の三日間伊讀出張所管内では、中学生が地域の人々と触れ合うなかで、さまざまなことを学ぶ社会体験学習の「マイ・チャレンジ」が実施されました。ゴミが捨てられていない現場の巡視、不法投棄防止看板・ゴミ鳥居の制作・設置、鬼怒川についての講義と水質調査、礫（れき）河原や絶滅危惧植物の保全活動等の勉強など日常生活にはない経験をしました。



不法投棄状況の確認・ゴミの量にショック！！

総合地震防災訓練実施

下館河川事務所では十一月十四日（月）、総合地震防災訓練を実施しました。今回の訓練は、首都直下型地震を想定した大規模災害時における関東地方整備局全体の行動マニュアル、業務継続計画（BCP）の検証、職員の地震災害対処能力の向上、防災計画・体制の検証と改善を目的としたものです。下館河川事務所管内では震度6弱の地震が発生したと想定し支部の設置や点検、復旧対策検討、情報収集伝達のほか各種訓練を行いました。



- 停電時設備操作訓練
- 照明車設置
- 支部配置状況確認
- 被災箇所の応急復旧検討
- 情報収集・集約
- 情報伝達